

TC協会創設30周年シンポジウム2022 総括イベント

【セッション2】
データからみる
CDシンポジウム2022とTCシンポジウム2022

2022年11月29日（火）
登壇：石川 秀明（全国区実行委員会議長）
 中原 司郎（関西地区実行委員会議長）

本日の内容

- 参加者に関するデータ
- セッションに関するデータ
- ウェブサイト・SNSに関するデータ
- その他のデータ
- 最後に～来年のシンポジウムに向けて

参加者に関するデータ

コミュニケーションデザインシンポジウム2022

- 関係者込の参加者数 1,100名 (昨年941名 +17%)
- 46セッション延べ聴講者数 2,509名 (昨年2,252名 +11%)
- 参加企業数 206社 (昨年145社 +42%)
うち、直近5年間で参加のなかった新規企業が65社あり

3ポイントサマリー

- 今年からタイトルを変更してリニューアル
- トリセツ以外の業界へもアプローチ
- 広報活動のスタイルを変更

参加者に関するデータ

テクニカルコミュニケーションシンポジウム2022

- 関係者込の参加者数 650名 (2019年740名 -12%)
- 50セッション延べ聴講者数1,611名(2019年1,820名/60s -13%)
リアル参加894名、Zoom742名
- 参加企業数 154社 (2019年112社 +38%)

3ポイントサマリー

- 3年ぶりのリアル開催
- 無料セッションをZoom配信(ブレンディッド)
- JMA表彰式開催、過去受賞作品を多く展示

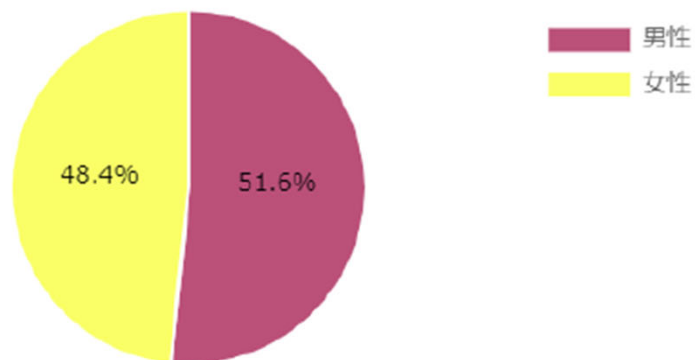
参加者に関するデータ

TC協会創設30周年シンポジウム2022 On the Web 【CDシンポジウム2022 オンラインライブ配信】全体アンケート

差し支えなければ、あなたのプロフィールをお教えてください。

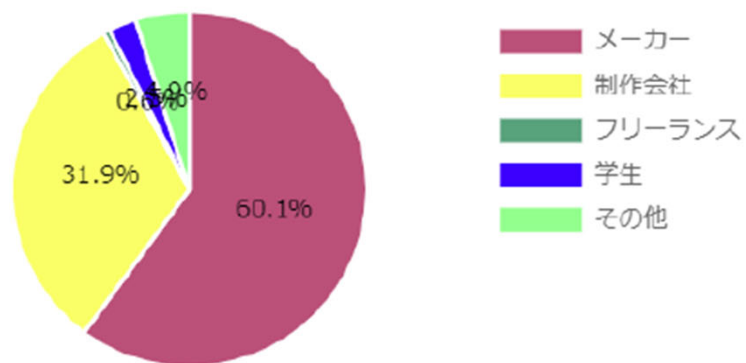
性別：

選択肢	入力数	割合
男性	83	51.6%
女性	78	48.4%
合計	161	-



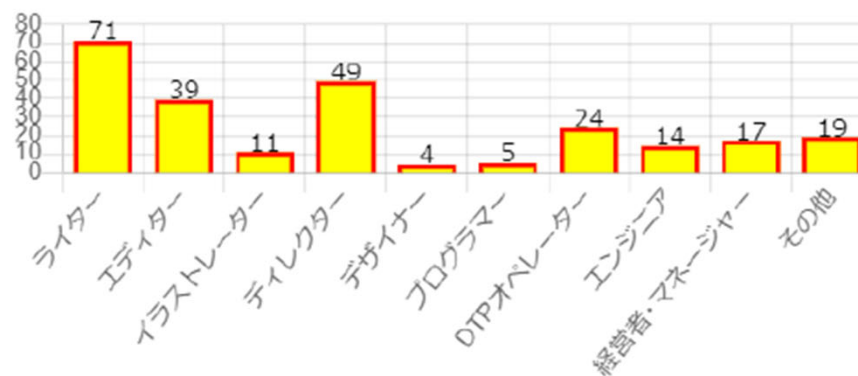
所属：

選択肢	入力数	割合
メーカー	98	60.1%
制作会社	52	31.9%
フリーランス	1	0.6%
学生	4	2.5%
その他	8	4.9%
合計	163	-



仕事の内容(複数回答可) :

選択肢	入力数	割合
ライター	71	28.1%
エディター	39	15.4%
イラストレーター	11	4.3%
ディレクター	49	19.4%
デザイナー	4	1.6%
プログラマー	5	2%
DTPオペレーター	24	9.5%
エンジニア	14	5.5%
経営者・マネージャー	17	6.7%
その他	19	7.5%
合計	253	-

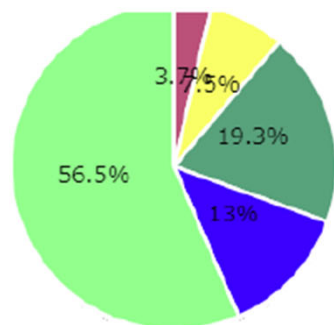


【その他】を選んだ理由

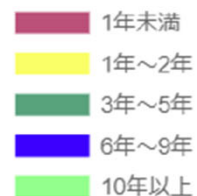
- 翻訳コーディネーター
- 取説適正化チェック
- プロジェクトマネージャー
- 教員
- 品質保証部
- 翻訳
- 翻訳プロジェクトマネージャー
- 学生
- 音声ガイド制作者
- 取説審査
- 翻訳者(兼)

経験年数

選択肢	入力数	割合
1年未満	6	3.7%
1年～2年	12	7.5%
3年～5年	31	19.3%
6年～9年	21	13%
10年以上	91	56.5%
合計	161	-

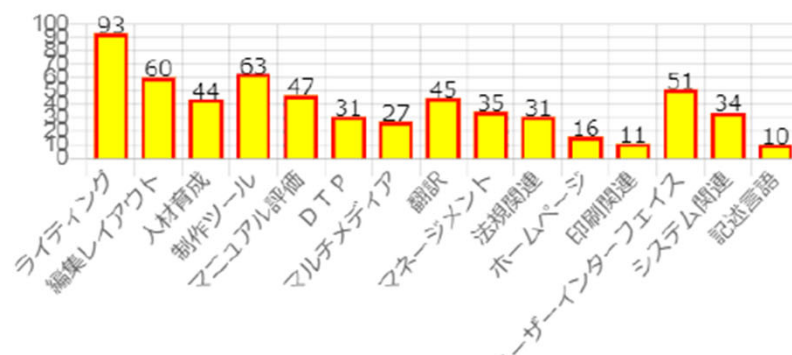


アンケート管理システム



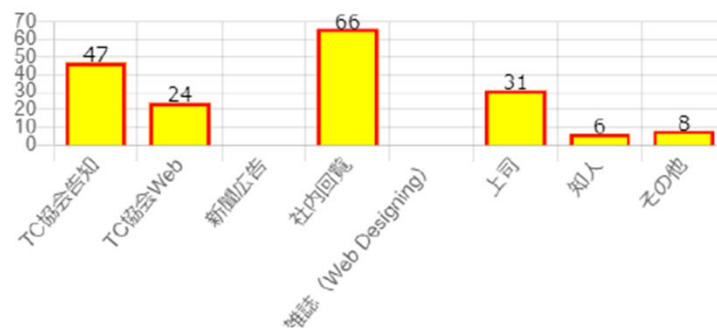
興味分野(複数回答可) :

選択肢	入力数	割合
ライティング	93	15.6%
編集レイアウト	60	10%
人材育成	44	7.4%
制作ツール	63	10.5%
マニュアル評価	47	7.9%
DTP	31	5.2%
マルチメディア	27	4.5%
翻訳	45	7.5%
マネージメント	35	5.9%
法規関連	31	5.2%
ホームページ	16	2.7%
印刷関連	11	1.8%
ユーザーインターフェイス	51	8.5%
システム関連	34	5.7%
記述言語	10	1.7%
合計	598	-



■今回のシンポジウムは、どのようにしてお知りになりましたか（複数回答可）？

選択肢	入力数	割合
TC協会告知	47	25.8%
TC協会Web	24	13.2%
新聞広告	0	0%
社内回覧	66	36.3%
雑誌（Web Designing）	0	0%
上司	31	17%
知人	6	3.3%
その他	8	4.4%
合計	182	-

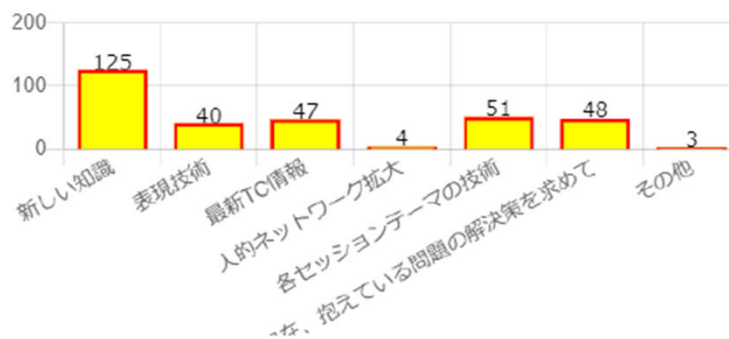


【その他】を選んだ理由

- ・取引先による情報提供
- ・スピーカーからの案内メール
- ・ゼミで
- ・学校

■今回のシンポジウムには、何を期待して参加されましたか（複数回答可）？

選択肢	入力数	割合
新しい知識	125	39.3%
表現技術	40	12.6%
最新TC情報	47	14.8%
人的ネットワーク拡大	4	1.3%
各セッションテーマの技術	51	16%
現在、抱えている問題の解決策を求めて	48	15.1%
その他	3	0.9%
合計	318	-



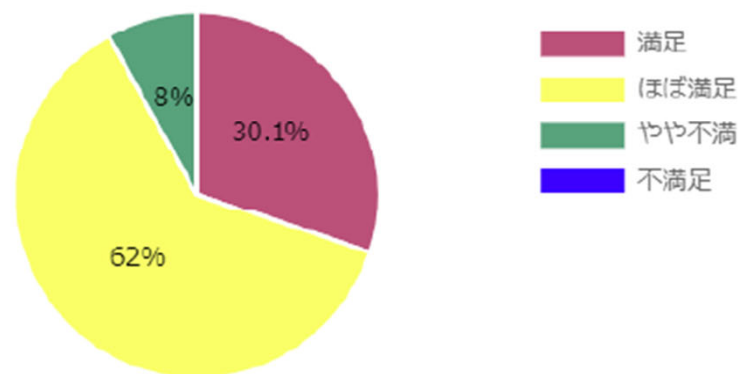
【その他】を選んだ理由

- ・情報のアップデート。無自覚課題の気づき。
- ・今の若者の意見
- ・最新IT情報

■ 今回のシンポジウムは、満足されましたか？シンポジウム全体を通してご意見・ご提案等がありましたら、お聞かせください。

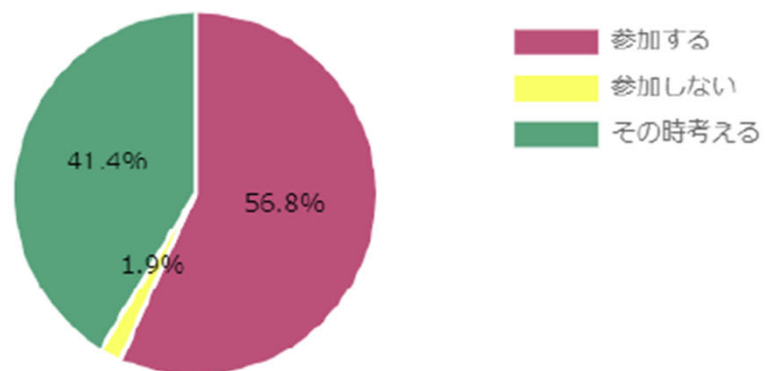
満足度：

選択肢	入力数	割合
満足	49	30.1%
ほぼ満足	101	62%
やや不満	13	8%
不満足	0	0%
合計	163	-



■ 来年のシンポジウムも参加したいと思われますか？

選択肢	入力数	割合
参加する	92	56.8%
参加しない	3	1.9%
その時考える	67	41.4%
合計	162	-

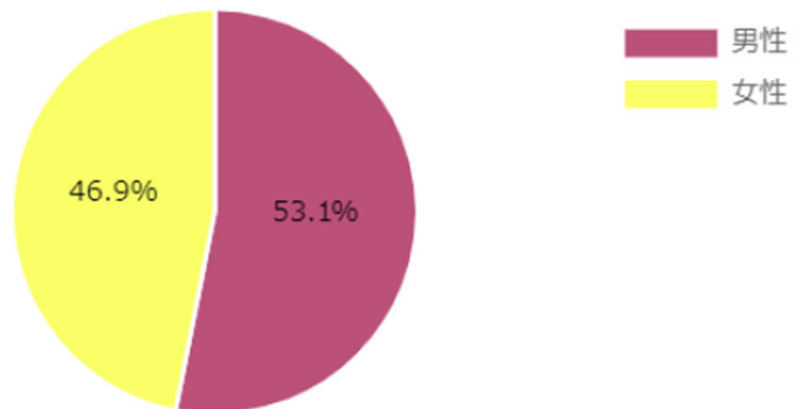


テクニカルコミュニケーションシンポジウム2022 全体アンケート

差し支えなければ、あなたのプロフィールをお教えてください。

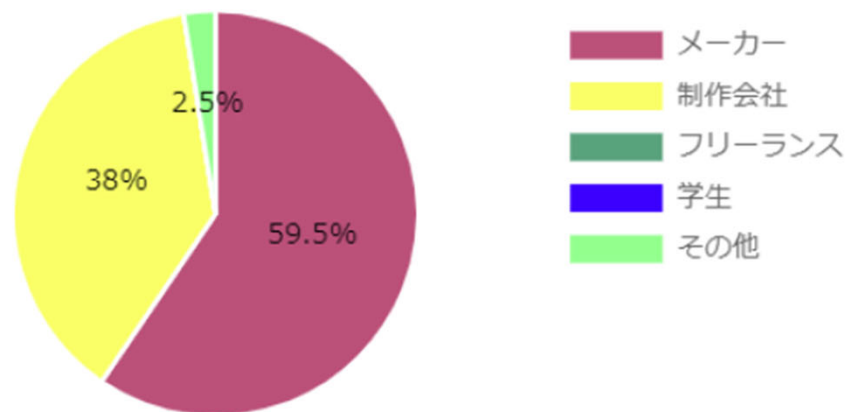
性別：

選択肢	入力数	割合
男性	43	53.1%
女性	38	46.9%
合計	81	-



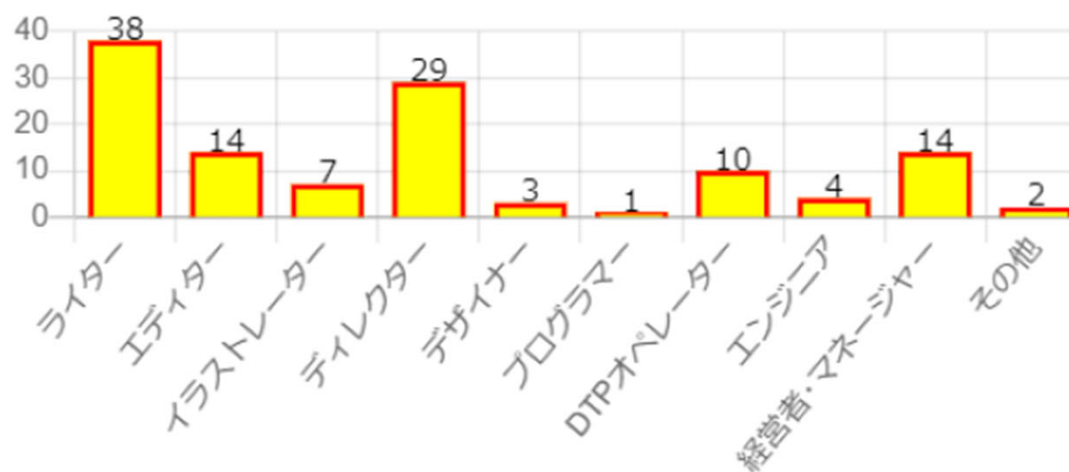
所属：

選択肢	入力数	割合
メーカー	47	59.5%
制作会社	30	38%
フリーランス	0	0%
学生	0	0%
その他	2	2.5%
合計	79	-



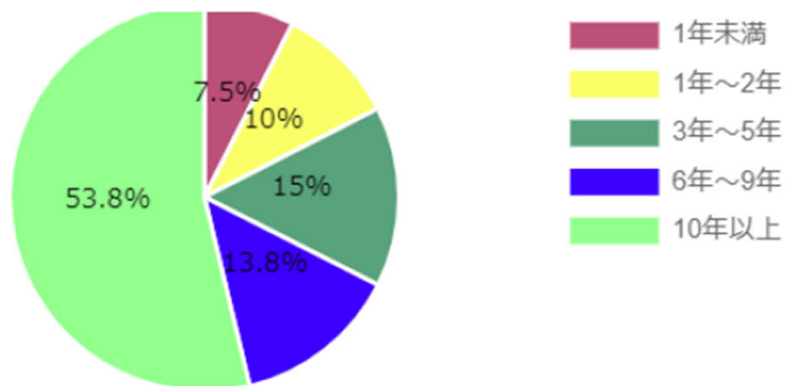
仕事の内容(複数回答可) :

選択肢	入力数	割合
ライター	38	31.1%
エディター	14	11.5%
イラストレーター	7	5.7%
ディレクター	29	23.8%
デザイナー	3	2.5%
プログラマー	1	0.8%
DTPオペレーター	10	8.2%
エンジニア	4	3.3%
経営者・マネージャー	14	11.5%
その他	2	1.6%
合計	122	-



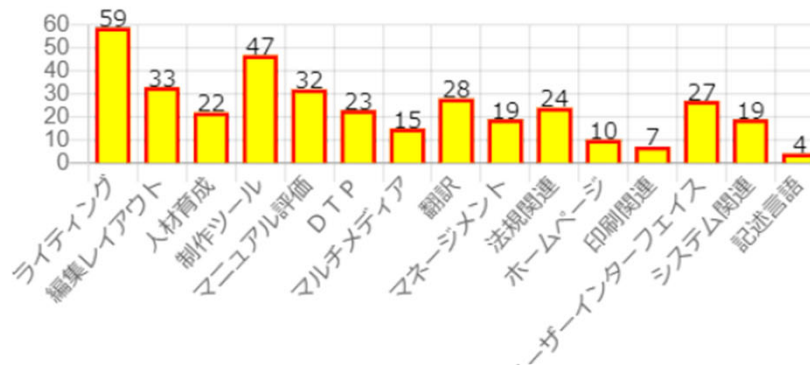
経験年数：

選択肢	入力数	割合
1年未満	6	7.5%
1年～2年	8	10%
3年～5年	12	15%
6年～9年	11	13.8%
10年以上	43	53.8%
合計	80	-



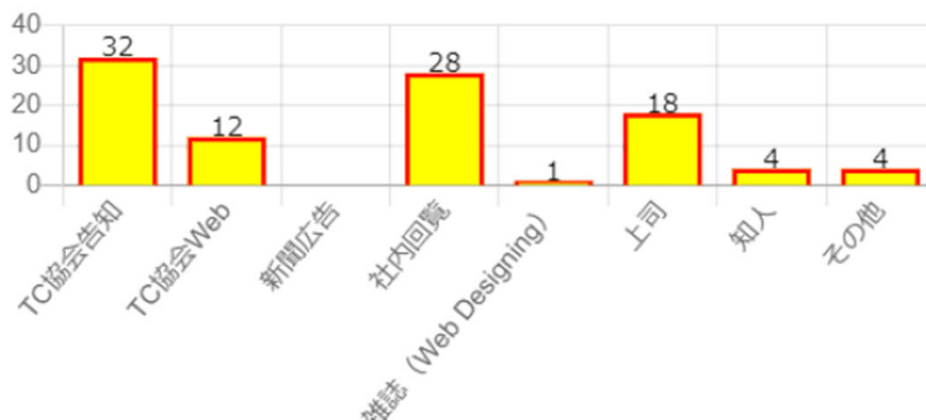
興味分野(複数回答可)：

選択肢	入力数	割合
ライティング	59	16%
編集レイアウト	33	8.9%
人材育成	22	6%
制作ツール	47	12.7%
マニュアル評価	32	8.7%
DTP	23	6.2%
マルチメディア	15	4.1%
翻訳	28	7.6%
マネージメント	19	5.1%
法規関連	24	6.5%
ホームページ	10	2.7%
印刷関連	7	1.9%
ユーザーインターフェイス	27	7.3%
システム関連	19	5.1%
記述言語	4	1.1%
合計	369	-



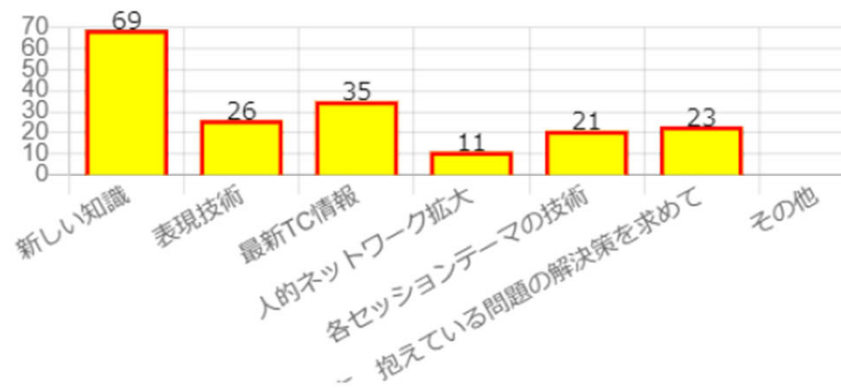
■今回のシンポジウムは、どのようにしてお知りになりましたか（複数回答可）？

選択肢	入力数	割合
TC協会告知	32	32.3%
TC協会Web	12	12.1%
新聞広告	0	0%
社内回覧	28	28.3%
雑誌（Web Designing）	1	1%
上司	18	18.2%
知人	4	4%
その他	4	4%
合計	99	-



■今回のシンポジウムには、何を期待して参加されましたか（複数回答可）？

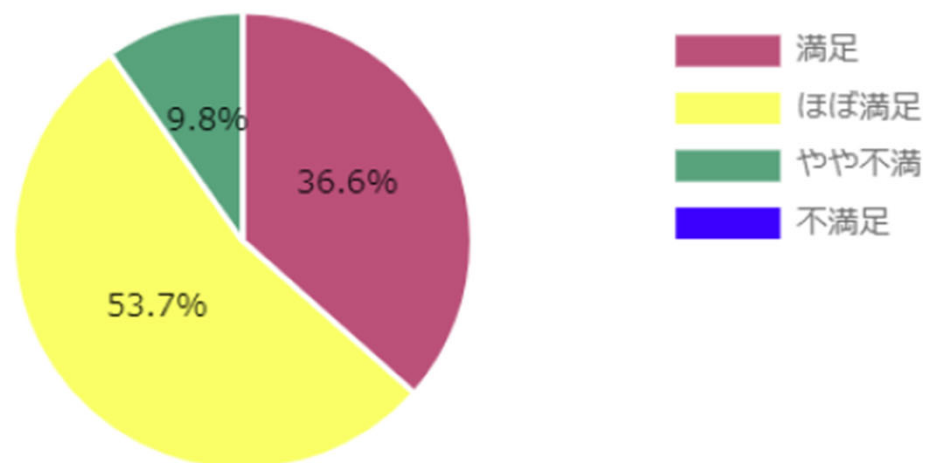
選択肢	入力数	割合
新しい知識	69	37.3%
表現技術	26	14.1%
最新TC情報	35	18.9%
人的ネットワーク拡大	11	5.9%
各セッションテーマの技術	21	11.4%
現在、抱えている問題の解決策を求めて	23	12.4%
その他	0	0%
合計	185	-



■ 今回のシンポジウムは、満足されましたか？シンポジウム全体を通してご意見・ご提案等がありましたら、お聞かせください。

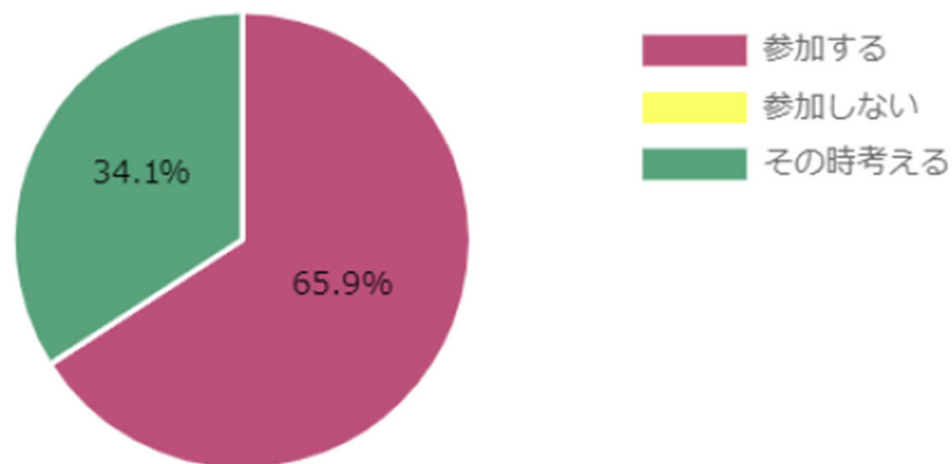
満足度：

選択肢	入力数	割合
満足	30	36.6%
ほぼ満足	44	53.7%
やや不満	8	9.8%
不満足	0	0%
合計	82	-



■ 来年のシンポジウムも参加したいと思われませんか？

選択肢	入力数	割合
参加する	54	65.9%
参加しない	0	0%
その時考える	28	34.1%
合計	82	-



セッションに関するデータ

CDシンポジウム 参加人数トップ5

- 1位 T04 質問力を磨き、情報を整理する手法
- 2位 T00 Jリーグレフェリーが選手と向き合うために考えている事
- 3位 T17 製品・サポート情報のプロジェクトマネジメントを学ぶ、
指導する 執筆工程
- 4位 T08 受け手に「刺さる」プレゼン～「ピッチ」を学んでマニュアルに
活かす～
- 5位 T09 公用文の新しい執筆ルールを理解しよう

その他、参加者の多かったテーマ

- T02 「活用されるFAQ」書き方と運用
- T16 製品・サポート情報のプロジェクトマネジメントを学ぶ、
指導する つくりかた設計工程
- T06 安全に配慮するポジティブなトリセツ～安心を伝える～
- T24 製品・サポート情報の改善プロセスを学ぶ

セッションに関するデータ

TCシンポジウム 参加人数トップ5

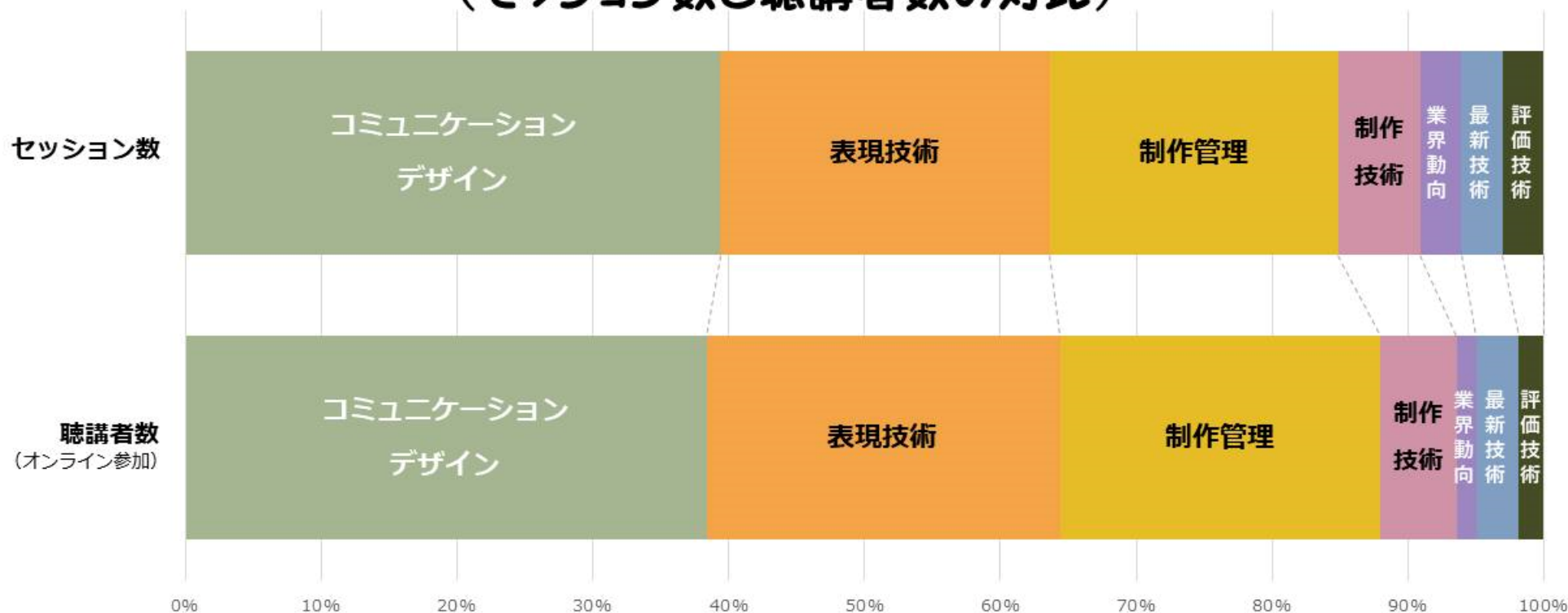
- 1位 K12 CMSでのコンテンツ管理～冊子からの脱却～
- 2位 K38 製品・サポート情報のプロジェクトマネジメントを学ぶ、
指導する 執筆工程実践編
- 3位 K40 製品・サポート情報の改善プロセスを学ぶ：
事例で学ぶ解析データの読み説き方、その使い方
- 4位 K01 顧客の声を活かしたマニュアル改善の取り組み
～トリセツの「オブザイヤー」受賞会社に学ぶ～
- 5位 K19 SVGを理解して、Webマニュアルでのイラストの表現力・伝達力を
高めよう

その他、参加者の多かったテーマ

- K00 わかりやすく伝える ～わかることを楽しくする図鑑制作術～
- K20 イラストの達人から学ぶ、本当に伝わるテクニカルイラスト
- K30 [研究発表] 機械翻訳の現状と言語教育の未来
- K11 イラストVS実写動画 どちらがわかりやすい？
- K39 製品・サポート情報のプロジェクトマネジメントを学ぶ
評価・検証工程

セッションに関するデータ

日本のテクニカルコミュニケーターに興味 コミュニケーションデザインシンポジウム2022 (セッション数と聴講者数の対比)



JTCAシンポジウム2022

トリセツを楽しむコミュニティー編 2022年11月1日版 作成責任 黒田聡

セッションに関するデータ

日本のテクニカルコミュニケーターに興味 テクニカルコミュニケーションシンポジウム2022 (セッション数と聴講者数の対比)



JTCAシンポジウム2022

トリセツを楽しむコミュニティー編 2022年11月1日版 作成責任 黒田聡

ウェブサイト・SNSに関するデータ

ウェブサイト

- TC協会公式

<https://www.jtca.org/>

- TC協会創設30周年シンポジウム2022 On the Web

<https://jtca-web.com/>



- JTCAシンポジウム

<https://jtca-web.com/sympo-web/>



イベント内容はOn the Webに、背景や考え方はシンポジウムサイトにそれぞれ発信してシンポ全体の情報を整理

ウェブサイト・SNSに関するデータ

SNS

- Facebook公式ページ CD & TC symposium

<https://www.facebook.com/tcsympo>

2022/11/26現在 289名フォロー



- Facebookグループ「トリセツを楽しむコミュニティー」

<https://www.facebook.com/groups/enjoy.torisetsu>

2022/11/26現在 164名参加



公式ページでは、各セッションの紹介やセッションの企画意図を、企画者の視点から発信

グループコミュニティーでは、トリセツにまつわる様々なエピソードを紹介

その他のデータ

TC協会会員・非会員のシンポジウム参加動向

- CD & TCシンポのいずれかに参加した会員割合は81%
- 不参加だった企業の多くは制作会社とツールベンダー
- 非会員の参加が多かったセッション
 - ・ 解析研究会の公開討論
 - ・ スポンサーセッション(商品紹介)
- 非会員の参加が少なかったセッション
 - ・ T01 テクニカルライティング基礎
 - ・ T05 サービスマニュアル制作者を育てる
 - ・ T22 TCカフェ
 - ・ K31 高い生産性構造のWord文書を作る
 - ・ K34 「こんなトリセツあったらいいな！」を見える化
 - ・ K24 論理的なコミュニケーションの進め方

無料セッションが多数ある中で偏りあり

非会員の期待は「ツール運用」「最新技術」に強い？

最後に～来年のシンポジウムに向けて

- シンポジウム実行委員を募集しています！
業界メンバーと一緒に考え、学び、成長していける場所です。同じ悩みを分かち合うだけでも、次への一歩が踏み出せるきっかけになることも。
- ジャパンマニュアルアワードへの応募もお待ちしています！マニュアルに対する第三者評価を得られる機会としてぜひご活用ください！
- CD&TCシンポジウムでは、多くのご視聴、ご来場ありがとうございました！
来年以降も少しずつ進化させていきたいと思います！
皆さんのお知恵をぜひ貸してください！